

平成 30 年度第 1 回 逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議の概要

【日 時】 2018 年（平成 30 年）8 月 1 日（水）10:00～正午

【場 所】 逗子市役所 5 階第 3 会議室

【出席者（敬称略）】

＜メンバー＞福井座長、水口副座長、田中メンバー、桐ヶ谷メンバー、三宅メンバー、
川俣メンバー代理：島由紀子氏、岡本メンバー、北村メンバー、
下境メンバー、大山メンバー、芳垣メンバー、須藤メンバー、山田メンバー

＜アドバイザー＞出石アドバイザー

【欠席者】 東メンバー

【事務局】 福本経営企画部次長、仁科企画課主幹、四宮専任主査、橋本主事（記録）

【傍聴者】 1 人

【資料】 次第

逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議メンバー名簿

資料 1 逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（基本目標）の進捗状況表

資料 2 地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告

参考 1 逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（具体的施策）の進捗状況表

参考 2 逗子市人口ビジョンにおける人口の現状分析データの更新

参考 3 平成 29 年度逗子市人口データ集

参考 4 平成 29 年度逗子のまちづくりに関するアンケート調査集計結果

参考 5 推進会議スケジュール

1 開会

2 メンバーの交代について

○事務局から会議メンバーの交代を報告した。

- ・市民メンバーの横田メンバー、富田メンバーが辞退された。新たに市民メンバーを公募したが、応募者がいなかった。
- ・株式会社横浜銀行のメンバーが、小西メンバーから岡本メンバーに交代した。
- ・市職員メンバーについて、経営企画部長福井、市民協働部長芳垣が前任者に替わり、新たにメンバーとして参加する。

3 推進会議スケジュールの確認

○参考 5 をもとにスケジュールの確認を行った。

4 平成 29 年度実施事業に関する効果検証について【意見交換】

(1) 逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

○逗子市の人口について、座長が説明した。

○参考 1 逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（具体的施策）の進捗状況表を参考にしながら、逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標 1～4 について、全体で意見交換を行った。

○次のような質疑、意見交換が行われた。

◆基本目標 1

（田中メンバー）参考 1 の各事業における 2017 年度実績額について、前年度に比べて大きな差異のある事業がいくつかあるが、理由を教えてください。

（事務局）昨年度から財政の健全化、安定化をめざし、財政対策に取り組んでいるが、平成 29 年度については、年度が始まっていたため、基本的には予定どおりに事業を進めている。事業費が下がったものについては、主に施設整備等が終わったことによるものと考えられる。また、事業費が増えたものについては、対象者の増加等の要因が考えられる。

（出石アドバイザー）「1-1-①結婚から妊娠、出産に向けた支援」の KPI「出生数が 400 人/年になっている」について、2017 年度は近年で最低の数字になっている。市が取り組みを進めているにもかかわらず、数字が落ち込んでいる。

（事務局）子どもを産み育てる年齢層の女性の数自体が減っているため、生まれる子供の数が減っている。

（出石アドバイザー）そのような状況で、目標達成できる見込みと言えるのか。

（事務局）2016 年度の出生数が 392 人と目標に近い数字であったこと、それに合わせて出生率も上がっていること。また、働き方改革の流れも想定し、達成できる見込みとした。

（出石アドバイザー）出生率は微増しているが、女性の数が減っていることもあり、出生数が減少しているため、その中でも出生数増加につながるような取り組みを進めることが大切である。

（田中メンバー）KPI 達成に向け、一番力を入れている取り組みは何か。

（事務局）例えば、働き方改革は始まったばかりで、行政もどのようにアプローチするか難しいところだが、民間の事業者も含めて働き方を見直していくことが大切だと考える。現在、注目しているのはテレワークで、女性の就業という意味でも効果があると考えている。市内にもテレワーク施設ができた。民間の動きを見極めながら、行政としてできることを探していきたい。

（北村メンバー）現在の保育園の新設状況や充実度等について教えてください。

（山田メンバー）平成 30 年 4 月 1 日現在の待機児童は 8 名で、両親ともフルタイムの方はすべて入所できている。待機となっている方は求職中である。保留児童が 26 名いるが、緊急度という点から、8 名の待機児童への対策を進めている。現在、小規模保育施設 1 園を誘致しているとともに、認定こども園への移行手続きが 2 園で進んでいる。

幼児教育が無償化になった場合、保育園の入園希望者が増えることも予想されるため、検討していかなければならないと考えている。

(出石アドバイザー)「1-3-②働きながら子育てしやすい環境の整備」のKPI「市内保育所の待機児童数が0人になっている」について、達成できる見込みはあるのか。

(山田メンバー)全国的な傾向として、待機児童が減ると、翌年度は入所希望者が増えることが多い。逆に待機児童が多いと、入所希望者が減るといったように、増減が繰り返される流れとなっているため、難しいところではあるが、引き続き取り組みを進めたい。

(出石アドバイザー)保育所入所を目当てに引っ越してくることもあり、転入が促進される可能性もある。待機児童対策は大変かもしれないが、一方で人口が増える要因にもなる。

(下境メンバー)「1-1-②子育てを支える取組みの推進」のKPI「子育てポータルサイトのアクセス数が120,000件/年になっている」について、アクセス数が急激に伸びている理由はあるのか。

(山田メンバー)電話での問い合わせよりも、インターネットで行政情報を調べる方が増えているため、保育園の情報から健診等、子育てに関連する情報を強化した。それによりアクセス数が伸びていると考えられる。

(下境メンバー)基本目標2とも関係するが、ユーザーの地域属性等について分析することにより、子育て世代の転入が促進できるのではないかと。これだけ大幅に増加しているということは、かなり貴重な手段になると思うので、積極的に活用していただきたい。

(水口副座長)改めてKPIのたて方についての基本的な質問だが、例えば「1-1-②子育てを支える取組みの推進」のKPIは、既に目標値を超えているため「達成した」とするべきではないか。5年間の計画の3年が過ぎ、「達成した」、「達成できない見込みである」といった評価がいくつか出てきた。「達成した」と表現することにより、「達成できない見込みである」取り組みに、注力することができるし、また会議でも意見が出しやすくなる。

(事務局)累計や延べ数でKPIをたてているものは、「達成した」とすることができるが、単年度のものについては、最終的に目標値を下回る可能性があるため、評価最終年度まで「達成した」と言い切ることができない。

(出石アドバイザー)単年度でも達成したことは事実なので、施策ごとの進捗状況をより正確に検証するためにも、現行3区分による評価区分の見直しについて、検討の余地があるのではないかと。

基本目標1について、「概ね良好に取り組まれていると考える」ということでよろしいかと。

(一同)了承。

◆基本目標2

(出石アドバイザー)「2-2-①シティプロモーションの推進」のKPI「市HPのシティプロモーションのページへのアクセスが12,000件/年になっている」について、達成できる見込みはあるのか。

(福井座長) これまでシティプロモーションサイトを更新していなかったが、今年度から定期的に更新し、コンテンツを増やしていく予定としているため、アクセス数も伸びていくと考えている。

(下境メンバー) 「2-1-①移住・定住施策の推進」のKPI「移住・定住に係る相談が60件/年になっている」について、目標の60件に対して、2017年度は6件しかない。あまり力を入れているように思えないが、達成できる見込みはあるのか。

(事務局) メールや電話などで直接相談いただいたものをカウントしている。

(出石アドバイザー) シティプロモーションは相手が情報を取りに来て初めて効果が発揮される。それに対し、シティセールスという考え方もあり、世田谷区や品川区から多くの移住者がいるということは、そこに需要があるということである。これらの需要があるところに重点的にプロモーションをするなど、積極的なアプローチを仕掛けるべきではないかと思う。

(福井座長) 昨年度、都内での説明会等を事業として予定していたが、財政状況により中止となった。需要のあるところに手を伸ばさないといけないと考えている。

(出石アドバイザー) 京浜急行電鉄には、三浦半島事業開発部があり、いろいろな自治体と連携して取り組みを進めている。京急線の利用にもつながるので、車内広告等によるタイアップなどできることがあると思う。

(川俣メンバー代理：島氏) 横須賀市や三浦市は、中吊り広告を出している。都心まで乗り入れている電車なので、ぜひ活用していただきたい。転入超過をめざすに当たっては、移住相談の件数は伸ばしていくべきだと思う。

(田中メンバー) 他市の中吊り広告は見かけるが、逗子市の広告はあまり見たことがない。

(川俣メンバー代理：島氏) 市民を対象にしたイベントだと、駅に1枚、2枚貼る程度になってしまう。市外の方、都心の方をターゲットにしたイベント等においては、違う使い方が出てくると思う。ターゲットと内容によって使い分けをすることで、交流人口の増加が見込まれるのではないか。

(出石アドバイザー) 逗子市の行政は、遠慮しすぎではないかと思う。横須賀市は京浜急行とかなり連携しているし、「みさきまぐろきっぷ」や「葉山女子旅きっぷ」などもある中で、逗子については出てこない。お金をかけずにできることもたくさんあると思う。民間や学生、金融機関なども活用してほしい。

基本目標2について、「概ね良好に取り組まれていると考える」ということでよろしいか。

(一同) 了承。

◆基本目標3

(田中メンバー) 昨年度の評価において、「3-1-①快適な通勤環境の支援」については、民間の取り組みを踏まえて評価、検証すべきと意見している。今年度も同様に、「達成できる見込みである」とすることが妥当である。

(出石アドバイザー)「3-2-②漁業の活性化への支援」の KPI「小坪海浜地域活性化計画」について、達成できない見込みとしているが、残り 2 年では計画が完成しないと判断したということか。

(芳垣メンバー) 財政的な理由もあり、2019 年度までの完成は難しいと考えている。ただし、何もしないということではなく、引き続き検討を重ね、少しでも前に進めたい。

(水口副座長)「3-2-①商工業の活性化への支援」について、主な取組みの一つに「金融機関、商工会等と連携した事業承継の支援」とあるが、「未実施」が続いている。今後も未実施が続くのか。

(岡本メンバー) 現在、商工会と連携して事業承継に取り組んでいるところであるが、市があまり関与できていない印象がある。実際に取り組みが進んでいることは事実であり、市の関与度合いが低いと未実施となっているのではないかと考える。金銭的な支援以外にも、様々な支援方法があると思うし、連携を進めていきたいと考える。

(桐ヶ谷メンバー) 事業承継については、神奈川県と連携して取り組んでいる。

(出石アドバイザー) 神奈川県、金融機関、商工会が連携して事業承継を支援する仕組みはいいと思うが、逗子市が地域産業の活性化を進めていく中でも必須の取り組みだと思う。

(下境メンバー) 事業承継については、この戦略の策定時に金融機関が取り組むべき課題でもあるため、主な取組みの一つとしたものである。市が主体となって取り組みを進めることは難しいかもしれないが、例えば市役所に相談窓口を設ける等、金融機関や商工会と連携した取り組みは可能ではないか。

(芳垣メンバー) 事業承継の取り組みが進んでいることは承知しているが、市の事業として実施していないため、未実施としている。ここの記載方法については、検討したい。

(出石アドバイザー) 一つの起爆剤となり、人口増等にもつながっていく可能性のある話なので、ある程度、市も関わって進めていくことが大事である。

「3-3-②新たなビジネス等の創出への支援」の KPI「創業支援事業計画を利用し、創業に至った者が 5 年間で 35 件になっている」について、達成できる見込みとする根拠はあるのか。

(桐ヶ谷メンバー) 創業支援セミナーについては、近隣市町に比べ、逗子市は非常に参加者も多く、熱心度も高い。セミナーを受講して、すぐに創業には至らないと思うが、事業そのものには非常に手ごたえを感じているし、期待できると思う。

(出石アドバイザー) 基本目標 3 について、「概ね良好に取り組まれていると考える」ということでよろしいか。

(一同) 了承。

◆基本目標 4

(出石アドバイザー)「4-2-①市民同士をつなぐ事業の推進」の KPI「5 小学校区すべての住民自治協議会において、地域の課題解決の取組みが行われている」について、達成でき

ない見込みとなっている理由を教えてください。

(芳垣メンバー) 住民自治協議会が4小学校区で立ち上がったが、残る一つの逗子小学校区が現状では期間中に設立に至らないと考えている。逗子、桜山、新宿の3つのブロック別に取り組みを進め、努力しているが、2019年度までの設立は難しい状況である。

(出石アドバイザー) 基本目標3とも関連するが、今年の海水浴客数はどのような状況か。

(芳垣メンバー) 7月末の時点で10万人を超えている。今年はウォーターパークも実施しており、天候に問題がなければ、数字は伸びると期待している。

(川俣メンバー代理：島氏) 転入者が増えるエリアにおいて、新しい人が地の人とコミュニケーションを取りづらいついた懸念が、住民自治協議会の設立が遅れている原因の一つとして考えられるならば、逗子市への転入促進という面においてマイナス要素になるのではないかと考えている。

(芳垣メンバー) 確かに転入者が増えているエリアがまさにこの逗子小学校区であるが、住民自治協議会の取り組みが進まないことと転入増に直接の結びつきはないと考えている。住民自治協議会は主として既存の自治会・町内会がベースになっているが、逗子小学校区では、自治会、町内会の理解がなかなか進んでいない現状がある。子育て世代をはじめ、様々な活動をしている方が転入してきているので、ぜひ地域の活動に参加していただきたいと考えている。

(出石アドバイザー) 基本目標4について、「概ね良好に取り組まれていると考える」ということでよろしいか。

(一同) 了承。

(2) 地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告について

○資料2について、事務局が説明した。

○本件(資料2の内容)について、了解された。

5 その他

○基本目標に対する意見については、事務局で取りまとめ整理し、次回会議で確認することとした。

○事務局から以下の点について、情報提供及び説明を行った。

- ・平成30年度の国の地方創生交付金について、神奈川県、三浦半島の4市1町の広域連携事業として三浦半島魅力最大化プロジェクト推進事業を申請し、採択された。逗子市ではジュニアヨット教室を行う予定である。
- ・次回の会議は、8月30日(木)10時から開催する。

6 閉会